

## ● 巾着網(中部標本船)

- マイワシは、7月・8月に平年値を大きく上回り、漁獲が急増した(図1)。
- カタクチイワシの漁獲は、4月・5月・11月に平年を上回り、6月から10月は下回った(図2)。

## ● 機船船びき網(南部標本組合)

- イワシシラスは、4月から8月・11月・12月に平年以上の漁獲があった(図3)。
- イカナゴシラスは、平年を大きく下回る漁獲量であった(図4)。

## ● サワラ流し網(南部標本組合)

- サワラは、4月・5月と8月・9月・11月・12月に平年以上の漁獲があったが、10月を下回った(図5)。

## ● アナゴかご(中部標本組合)

- マアナゴは、周年を通じて平年値を下回る漁獲量であった(図6)。

## ● 小型底びき網

### 石桁網(中部標本組合)

- シタ類は、ほぼ平年並みの漁獲量であったが、10月から12月にかけて平年を上回った(図7)。
- マコガレイは、2月に平年を上回ったが、他の月は低調な漁獲であった(図8)。
- メイタガレイは、1月・3月・4月・8月・9月は平年以上の漁獲があったが、他の月は平年並みか平年以下であった(図9)。
- ヒラメは、ほぼ平年並の漁獲量であったが、2月と12月は平年を大きく上回った(図10)。
- オニオコゼは、1月から4月に漁獲が多かった(図11)。
- マゴチは、周年平年w上回る漁獲があった(図12)。
- ネズヅボ類(がっちょ)は、4月から9月にかけて平年を上回る漁獲があった(図13)。
- キスは、1月から3月と7月・9月に平年を上回る漁獲があったが、他の月はほぼ平年並みの漁獲量であった(図14)。

図1

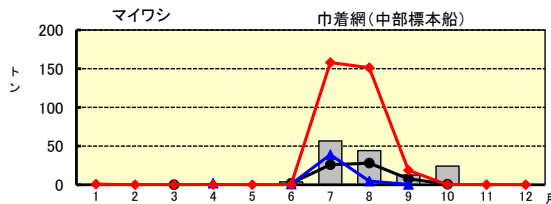


図2

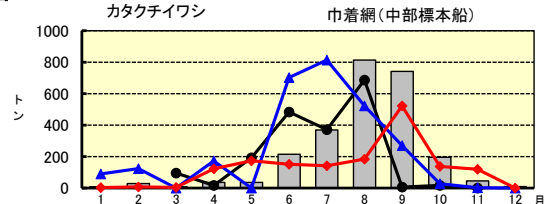


図3

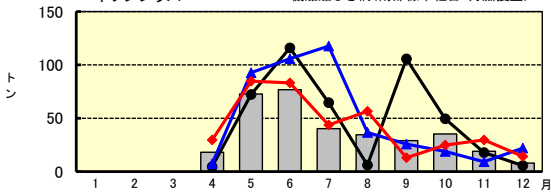


図4

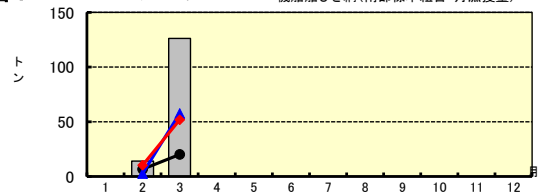


図5

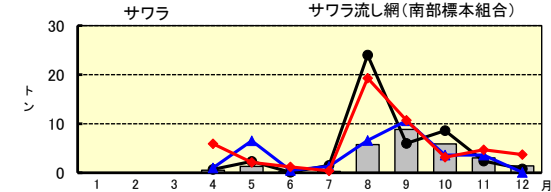


図6

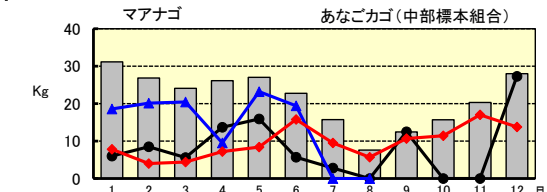


図7

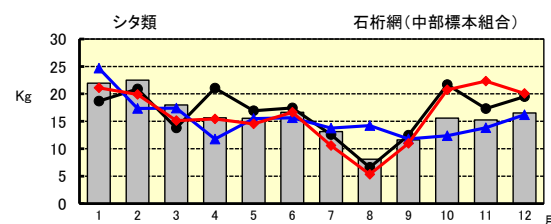
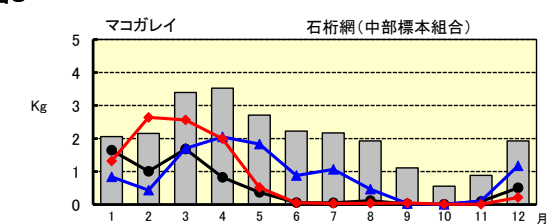


図8



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。 注:図1、図2、図3、図4、図5は、月漁獲量(トン)を示す。

平均値
  平成27年
  平成26年
  平成25年

平均値は、平成12年～平成26年の平均値を使用した。

図9

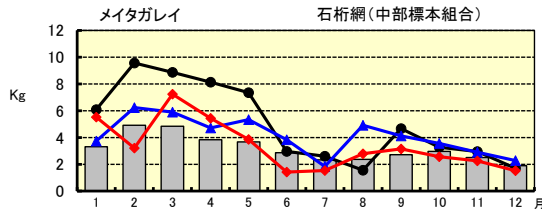


図10

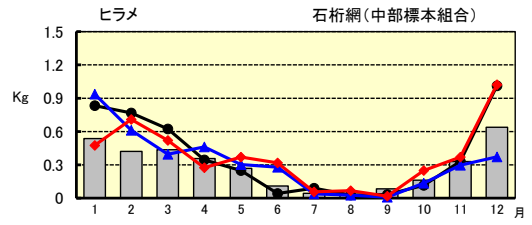


図11

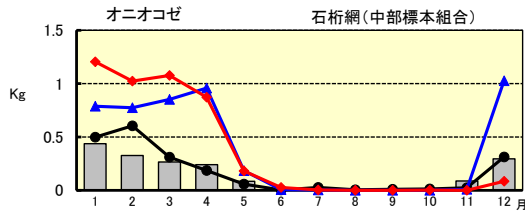


図12

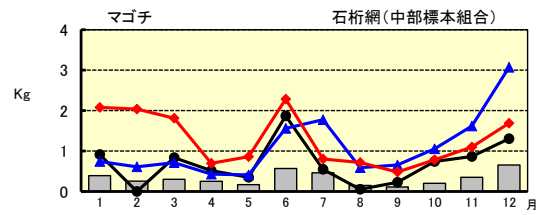


図13

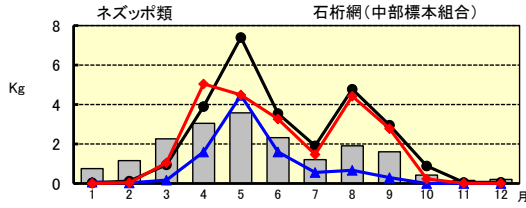


図14

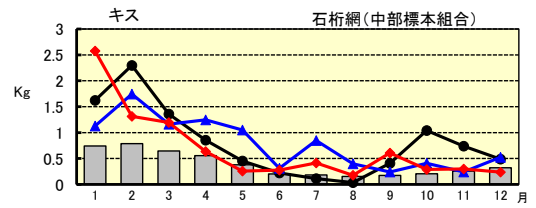


図15

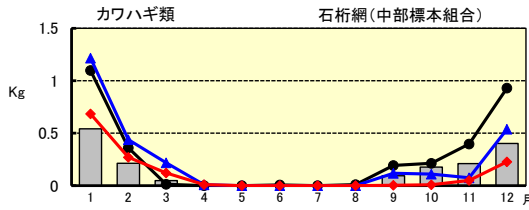


図16

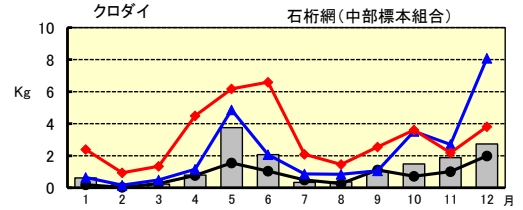


図17

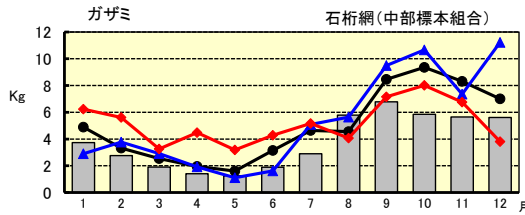


図18

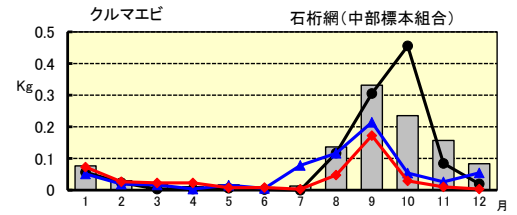


図19

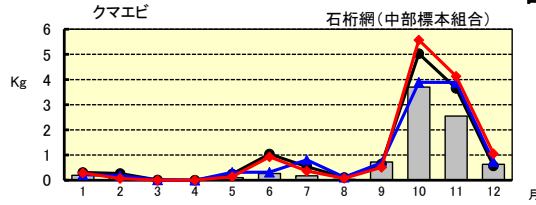


図20

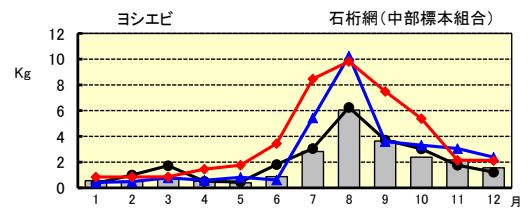


図21

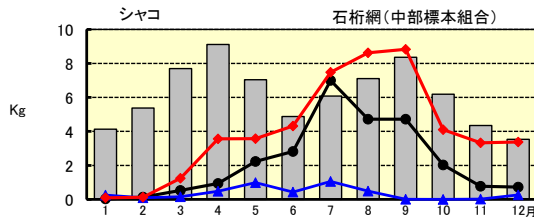
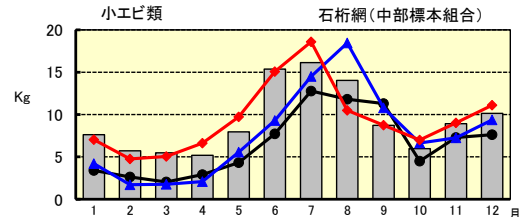


図22



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

平年値
  平成27年
  平成26年
  平成25年

平年値は、平成12年～平成26年の平均値を使用した。

- カワハギ類は、1月から8月は平年並みの漁獲量であったが、9月から12月は平年を下回る漁獲量であった(図15)。
- クロダイは、ほぼ周年平年を上回る漁獲があった(図16)。
- ガザミ(わたりがに)は、8月・12月を除き平年を上回る漁獲があった(図17)。
- クルマエビは、周年低調な漁獲であった(図18)。
- クマエビ(あしあか)は、6月と10月から12月にかけて、平年を上回る漁獲があった(図19)。
- ヨシエビ(しらさ)は4月から10月にかけて平年を上回る漁獲があった(図20)。
- シャコは、近年まれに見る漁獲量であり、特に、7月から9月にかけて平年を上回る漁獲があった(図21)。
- 小エビ類は、ほぼ昨年並の漁獲量であったが、8月は昨年を大きく下回った(図22)。
- コウイカ類は、9月から12月にかけて漁獲が急増した(図23)。
- マダコは、周年平年並みの漁獲量であった(図24)。
- アカガイは、貝毒の発生もなく、平年を大きく上回る漁獲量であった(図25)。
- トリガイは、3月に漁獲が急増したが、貝毒が検出されたため、4月・5月に出荷規制があった(図26)。

図23

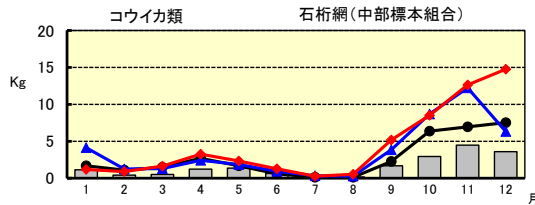


図24

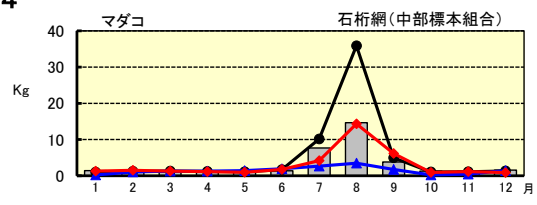


図25

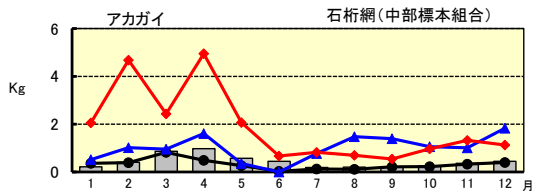
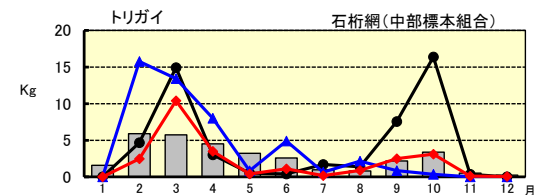


図26



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値    ◆ 平成27年    ▲ 平成26年    ● 平成25年  
 平年値は、平成12年～平成26年の平均値を使用した。

● 小型底びき網

板びき網

- 中部のマダイは、2月から7月にかけて平年を上回る漁獲量であったが、8月以降はほぼ平年並であった(図27)。
- 中部のスズキは、周年平年を大きく下回り、ほぼ昨年以下の漁獲量であった(図28)。
- 中部のアジ類は、5月は好漁であったが、7月以降平年を大きく下回った(図29)。
- 中部のクロダイは、1月から4月には昨年・平年を上回る漁獲があり、10月・12月にも平年を上回る漁獲があった(図30)。
- 中部のハマは、5月から9月は平年を大きく上回る漁獲量であった(図31)。
- 中部のシログチは、周年平年以下の漁獲量であった(図32)。
- 中部のタチウオは、1月から3月は昨年、平年を大きく上回る漁獲量であったが、他の月はほぼ平年並であった(図33)。
- 中部のマナヅオは、3月と9月から12月にかけて、平年・昨年以上の漁獲があった(図34)。
- 中部のイボダイ(うぼぜ)は、主な漁獲期の7月から10月の漁獲は平年を下回った(図35)。
- 中部のジンドウイカ(ひいか)は、4月と6月から9月にかけて昨年・平年を上回る漁獲量であった(図36)。
- 中部のコウイカ類は、10月以降平年以下の漁獲量であった(図37)。
- 中部のマダコは、6月から9月は昨年・平年を上回る漁獲量であった(図38)。
- 南部のサメ類は、月変動はあるが、ほぼ周年昨年、平年を上回る漁獲量であった(図39)。
- 南部のアジ類は、3月以降昨年・平年以上の漁獲量であった(図40)。
- 南部の小エビ類は、6月・7月は昨年・平年を上回る漁獲量であったが、他の月はほぼ平年並みの漁獲量であった(図41)。
- 南部のコウイカ類は、2月から5月と9月から12月にかけて、昨年・平年を大きく上回る漁獲量であった(図42)。

図27

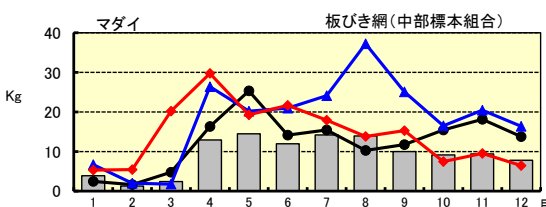
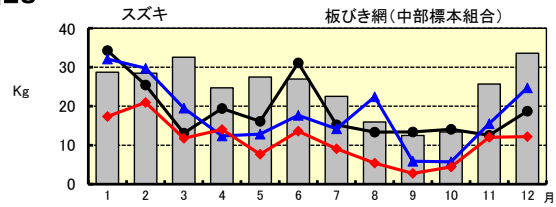


図28



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値    ◆ 平成27年    ▲ 平成26年    ● 平成25年  
 平年値は、平成12年～平成26年の平均値を使用した。

図29

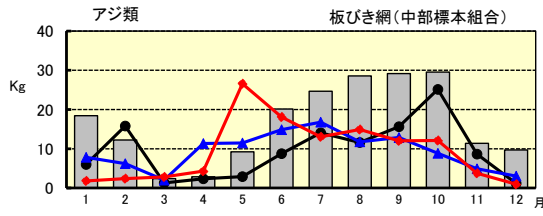


図30

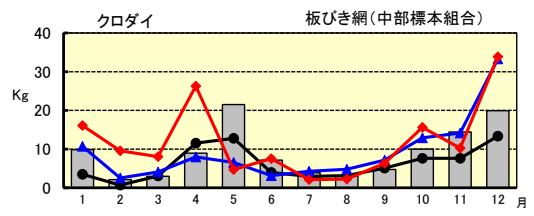


図31

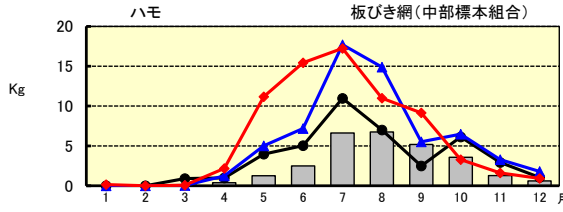


図32

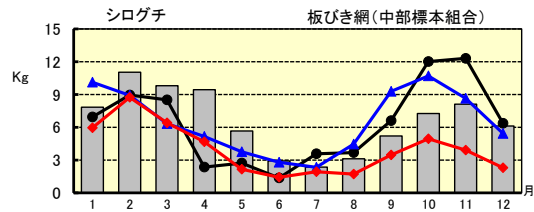


図33

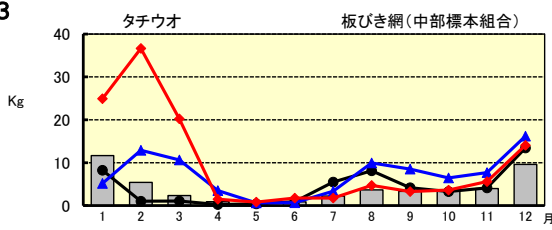


図34

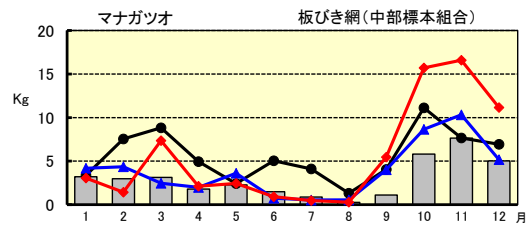


図35

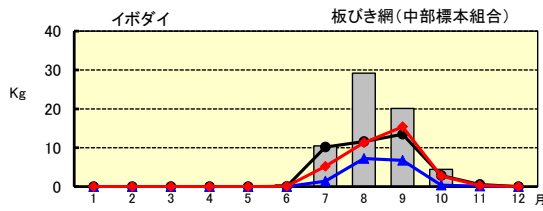


図36

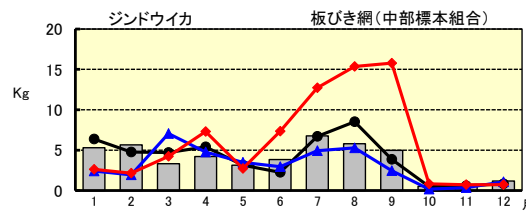


図37

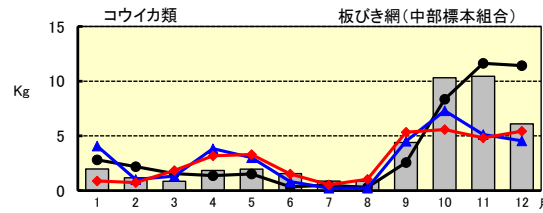


図38

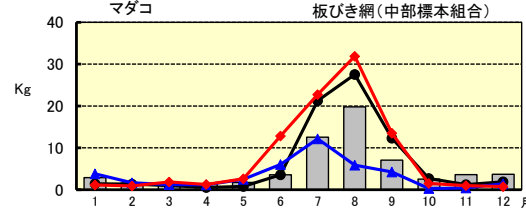


図39

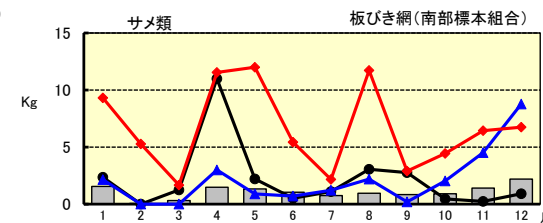


図40

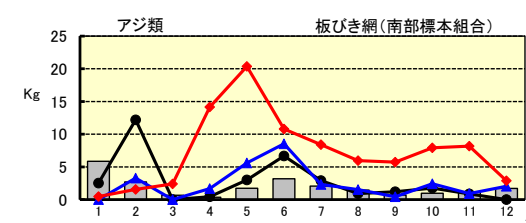


図41

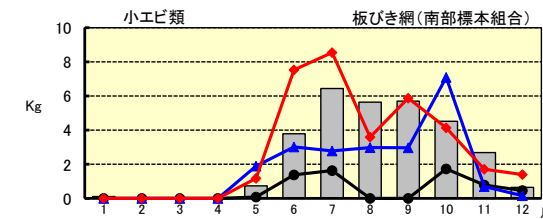
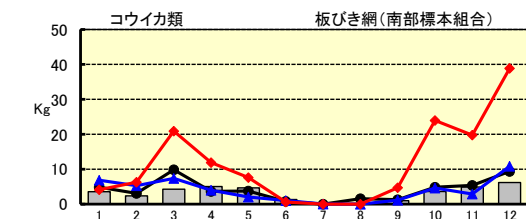


図42



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値    ◆ 平成27年    ▲ 平成26年    ● 平成25年

平年値は、平成12年～平成26年の平均値を使用した。